

MINIMINI MINES

お知らせ

平成26年度

ジュニアサイエンススクール 参加者を募集します!

こんな鉱石が
とれるかも!?

平成26年
7月29日(火)
7月30日(水)

平成26年度
ジュニアサイエンススクール

「大地にねむる宝を探す旅」 ～鉱物採集とオリジナル標本づくり～

鉱業博物館では、毎年小学生の夏休み期間中、ジュニアサイエンススクールと題して、自然から様々な発見をすることを狙いとした体験学習を行っています。今年は水晶や黄銅鉱などの鉱物を自分の手で採取して、オリジナルの標本を作成します。指導は秋田大学教員が行い、学生がサポーターとして参加しています。参加費は無料です。毎年早々に定員が埋まってしまうほど、好評をいただいております。ぜひお友達を誘ってご参加ください。皆さんの参加をお待ちしています!

開催日	平成26年7月29日(火)・30日(水)
対象	小学6年生(8時30分までに博物館に集合できる方)
場所	1日目 秋田県内(バス日帰り)採集地 2日目 秋田大学附属鉱業博物館 講堂
講師	秋田大学教員
実施内容	野外での旧鉱山の見学及び、 鉱物の採集と室内での標本作成
申込方法	電話による申し込み 先着20名 電話番号 018-889-2461
申込期間	6月30日(月)～7月10日(木) 10時30分～16時(土・日除く)
参加費	無料(両日ともに昼食はご持参ください)

先着順です。
お早めにご連絡
ください!

ニュース
News!

平成26年度第1回市民向け開放講座を開催しました。

くようぶつ
演題: 「仙北市田沢供養佛で発生した土石流の素因を考える」
講師: 丸山孝彦 秋田大学名誉教授



丸山孝彦名誉教授



聴講する参加者の皆さん



腐葉土混じり層

捨てられた安山岩塊

水の通り道になってしまった

30cm程の腐葉土層

石英安山岩質凝灰岩

腐葉土層と安山岩塊
の間に水が浸入、安
山岩塊が土石流とし
て流れ出した

粒度と締まり具合により、
不透水層を演じている状態

平成26年6月10日(火)、平成26年度第1回鉱業博物館市民向け開放講座を開催しました。「仙北市田沢供養佛(くようぶつ)で発生した土石流の素因を考える」と題し、講師に丸山孝彦秋田大学名誉教授を迎えての講座でした。平成25年8月9日に仙北市で発生した土石流災害について、丸山先生の専門である岩石学的手法を用いて自ら調べ上げ解析したデータをもとに考察された原因を、市民の皆様に向けて発表されました。

丸山先生は、「現場の地盤は下から石英安山岩質凝灰岩、30cm程の腐葉土層、発電所建設の際捨てられた安山岩塊、凝灰岩・安山岩の小片を含む腐葉土混じり層となっており、30cm程の腐葉土層は粒度と締まり具合から不透水層の役割を演じている状態だった。そこに豪雨が加わり、捨てられた安山岩塊が土石流として流れ出した。」と考察を講演しました。多くの聴講者をはじめ報道機関からも取材があり、今年度最初の講座は大いに注目を集めました。



第2回サイエンスボランティア 講習会を開催しました。

サイエンス
ボランティア



講師の西川先生 参加したボランティアの皆さん

平成26年6月16日（月）、第2回サイエンスボランティア講習会を開催しました。

今回の講師は西川治先生が担当され、3月発売された鉱業博物館解説書「鑛のきらめき」を発売するにあたっての製作秘話について講演しました。ボランティアの皆さんに製作の裏側を知ってもらい、館内案内の際、見学者とのやりとりに活用して欲しいとの思いから、今回の講習に至ったそうです。

講演は100年続く博物館の歴史や成り立ち、大学博物館としての役割・使命の解説から始まりました。博物館は大きな役割として、資料を後世に残すため状態良く保管すること、研究した結果を周知する活動があります。今回の解説書発売は知の周知という博物館の使命のひとつであり、長い間、多くの人に関わってきた貴重な存在であるとの話でした。

参加されたボランティアの皆さんは博物館の歴史と解説書の「解説」を、大変興味深く聴講していました。講演の最後にはボランティアの皆さんから解説書についての質問があり、詳細な部分まで読み込まれている皆さんのエネルギーな姿勢は、知識の周知を実感できる講演となりました。



トリケラトプス

全恐竜で
最強!?

7月の
恐竜模型



ミュージアムショップにて
販売しています!

¥2,940

トリケラトプスは体長約9m、体重約8トンに及ぶ大型の草食恐竜です。後期白亜紀に、北米で生息していた最大級の角竜です。

頭部に3本の大きな角を有していることが最大の特徴です。名前の由来もそれから来ています。この角は護身用という説が有力です。首の周りの大きなフリルは、首の保護のための防具、外的への威嚇手段、異性へのアピールの役割など様々な考察がなされています。

また全身がそろった状態で発見されることは非常にまれですが、国立科学博物館にてトリケラトプス・ホリッドスの全身骨格が展示されています。



工学資源学部 学生ボランティアの活動



学生の
活動



今年度から工学資源学部2～4年次約30名の皆さんが「ボランティア参加」という授業の一環として、博物館業務の一部をサポートしてくれています。授業として学生のボランティアを受け入れることは、今年度からの新しい試みです。現在学生には、広報活動や展示関係、事務業務のサポートをお願いしています。

あらゆるかたちで鉱業博物館と学生との関係を深めていくことができれば、博物館としての知識の周知、並びに学生自身のスキルアップの一助となります。今後の学生の活動に大いに期待しています。



博物館見学団体

ピックアップ!

5月26日（月） ひまわり幼稚園



幼稚園から歩いて博物館まで遊びに来てくれました。元気いっぱい見学してくれました。

矢島中学校

6月6日（金）



旧矢島町（現由利本荘市）から博物館見学に来てくれました。はきはきと丁寧に挨拶をしてくれたのが印象的でした。

6月11日（水）

小出小学校



遠くはにかほ市から見学に来てくれました。他の団体のお客さまもいらっした中、真剣にボランティアさんの案内を聞いていました。

ほか、多数の個人・団体の御来館、誠にありがとうございました。

